

NPO Kyoken 通信 121号

発行日 平成28年03月01日 / 発行者 特定非営利活動法人 教育研究所

本部（横浜事務所）

〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20

TEL: 045-848-3761 | FAX: 045-848-3742

Email: contact@kyoken.org | URL: <http://kyoken.org/>

宇奈月自立塾

〒938-0282 黒部市宇奈月温泉5509-16

TEL: 0765-62-9681

FAX: 0765-62-1120

にいかわ若者サポートステーション

〒938-0037 黒部市新牧野103ファーストビル3F

TEL: 0765-57-2446 | FAX: 0765-57-2447

Email: contact@nsapo.org

URL: <http://nsapo.org/>

動きだす春！

3月が訪れると、春遅い宇奈月も、露の臺、カタクリの花、福寿草が一斉に咲き始め春を告げる。今年は雪が少ないが、春を喜ぶ気持ちは変わらない。

厳しい冬をやっとの思いで、乗り越えたから、東京や横浜に住む人よりその気持ちは強いのではないだろうか。

春は日本で暮らす以上、嬉しい季節で同時に、生まれ変わりの季節でもあり、新たな気持ちでスタートできる、リセットの季節でもある。

こんな人生を送っていても良いかと悩む、心因性の不登校生やひきこもりの人は、こんな時期、学校や職場等の環境を変え、リセットとしての再チャレンジをしようとする。でも、上手くいかない人は、家族を離れ、一人暮らしをはじめめる人もいる。だが、食事作り、洗濯、衣服整理、片付けと掃除、金銭と時間の管理等、生活技術を伴わない人は必ずと言っていいほど、失敗して、以前よりももっと、ひどいひきこもりを始める人もいる。

実は学校に行く、働くことの基本は、生活することにあると思う。その土台があり学校生活や職業的自立が存在すると思う。自分のことを自分でケアすることが、めんどくさいではなく、楽しめるようになったら、不登校、ひきこもりからの脱出の時期と考えてもよい。

しかし、すべてが不十分でも、やってみる、前向きにチャレンジすることしないと、春という時期のチャンスを失うことになる。

親とのコミュニケーション、生活管理がうまくいかない、どんな仕事ができるのか、なにができるのか、悩むひとのために宇奈月自立塾はある。そんな時は、勇気をもって利用したらよい。

家族会と当事者会の必要性 ～小手先の支援だけでは限界に～

NPO 法人教育研究所 理事長・教育コンサルタント 牟田武生

「不登校・ひきこもりから回復するための土台になるものは何ですか」と質問されることが多い。心因的な理由で、そのような状態に陥ってしまった多くの人たちは、対人不信や自信喪失から自尊心や自己有用感が持てない。さらに、これ以上、自分自身が傷ついてしまうと自己が崩壊するのではないかという、生存の危機に近いような感情に襲われる。

それを回避するために、生理的な自己統制として、うつ病的な症状が現れ、生存機能を維持していくことが自然と起るのではないかと考えられる。なかには、その統制がうまくいかず、初期の段階でうつ病を悪化させ、自死に至る人もいる。

戦前の日本社会や海外では、不登校やひきこもりの症状が散見できず、生物学的な捉え方だけでは証明できない壁に突きあたる。では、何に問題があるのか、阪神・淡路大震災の時、震災直後は不登校やひきこもりの数が減少した。被害者や地域に対して、様々な生きるための支援が入り、ライフラインと社会インフラが整備され、ほっと一息が付き、生活が再建されると、再び、爆発的に不登校・ひきこもりが増えた。

それらの心理的な症状は以前にも増して深刻だった。肉親や血縁者、友人を亡くした喪失感、大震災のトラウマが一気に被災者を襲い、その症状はさらに重くなっていた。

東日本大震災から5年、人々の暮らしは、まだ十分に改善していないが、落ち着きを取り戻しつつある。起って欲しくないが、阪神・淡路大震災のように、そのような被害者が増加したら、この仮説は成立してしまう。

人類は生存が一定程度保障され、安心感が生まれると、次に求めるのは、愛情や信頼感である。これが、家族や廻りの人から感じられなくなると、孤独や不安に襲われる。それらが充分にないと、ストレスを誘発させ、それが引き金になり、体調不良の原因になる自律神経の失調の状態になるのではないか、不登校・ひきこもりが長期化するのには、人とひとの絆が感じられなくなるからだと考えれば、土台となるものは、人間関係における愛情や信頼感等の“絆”ではないだろうか。

核家族化の中で、効率と利益優先でライフワークバランス考えがない企業経営者のもとで働く人たちは忙しい。長時間労働はあたり前、年間で欧米の2倍近く働くと、自ずと家族での会話の少なくなり、子どもとの情緒的つながりや信頼関係は薄くなっていく。

そんな家族の中ではじまるのが、子どもの孤食、たとえ、家族一緒での食事があっても心が通い合わない。さらには、地域社会で、人とひとの結びつきの脆弱化を大人達は、爽やかさっぱりでストレスを感じなくてよいとする。

ひと回避社会の成立の中では、子どもや若者のコミュニケーション能力、対人関係能力、社会性が育たないばかりか、人間として機能しなくなり、子どもや若者は、それを満たしてくれる現実逃

避した生き方としてのオタク化やネット依存が進行するのは、やもうえない。

子育てはお前に任せてあるという無責任な父親。

個性的であれ、成績もよくと掛け声をかける母親。

集団に迎合しないと成績が良くならない集団化一斉詰込みの学校教育という矛盾に気が付かず、子どもを激励する親たちによって、子どもの心は切り裂かれていく。

さらには、長期化した不登校やひきこもりの子を抱えても、その意味がよくわからず、高校や大学に進学すれば問題は解決したと思いこんでしまう。

ひきこもりやニートの若者を抱え、働けば、就職さえすれば、解決と考える親たちも同じ思考の人達である。しかし、そんな子どもや若者が学校で、職場で、歯を食いしばって頑張っても、長続きはしない。

親子の信頼関係や愛情としての情緒的な交流が自然とあり、愛情豊かな還れる家があって、不登校・ひきこもりの子どもや若者は、学校に職場に行ける。また、外で嫌なことやストレスを抱えても、傷ついても、家に帰り、癒される親を含め家族がいれば、明日また学校に職場にいける。

しかし、長年、自分なりに努力しても、10年、20年、30年とひきこもりが長期化してくると。親も若者といえなくなった当事者も、孤立が深まっていく、そんな、家族や当事者のためにできることから始めるとしたら家族再生である。

当事者の人として生きる意味の獲得、新たな情報の交換、参加者の相互信頼感の獲得、生きる新たな価値観を生み出す努力、そして、当事者らしい生き方を通しての自立への支援等の根本問題を一緒に考えて行く時である。

そこに、家族の会と当事者の会の本当の意味がある。

参考資料

文科省追跡調査

平成5年度中学3年（現在37歳）と平成18年度中学3年生（現在24歳）比較

高校進学率 65.3%→85.1%

高校中退率 37.9%→14.0%

大学・短大・高専への就学率 8.5%→22.8%

専門学校・各種学校への就学率 8.0%→14.9%

進学率、中退率は大幅減少しているが、ひきこもり・ニートは増加している。

経済的環境の悪化もあるが、進学することによって問題解決ができたわけではない。

また、18年度調査「不登校継続理由」からの分析から、

「無気力型」40.8%、「遊び・非行型」18.2%、「人間関係型」17.7%、「複合型」12.8%

「その他型」8.7%に類型化できるようになった。（平成26年7月発表文科省）

心因性より、無気力型が最近の若者に急増している。これらの希望を失ったタイプに対する対応は「様子を見る」「受容的対応」だけでは長期化していく。

宇奈月自立塾開塾 10 年を経て～寮長の個人記～ OB 制度編

宇奈月自立塾 寮長 牟田光生

色々手探りや苦心しながらも人間的成長を通じて就労を目指して行く形が、合宿支援若者自立塾宇奈月寮に見えてきました。

始まって 3 年位は年間 25 人前後の人数が塾で生活をし、訓練を積んでいきました、ただ、厚労省が当初見込んでいた人員の半分程度の人数でしたが.....。

さて、3 カ月間（後期は 6 カ月間）の合宿訓練だけで果たして地元に戻って上手くいくのか? どのようなのか.....?

10 年目の今から言えば NO です（勿論上手く行っている卒塾生もおりますが.....）。

どうなるか? と言うと、自信をつけ気力も充実し地元に戻りますが、元の「環境」に戻ってしまい、一つ歯車が狂うと、元の状態に戻ってしまう.....。

アルバイトとは言え、職歴の無い若者は雇いにくいのが実社会です。ましてや、自立塾に来る若者は総じてコミュニケーションが苦手で、非常に緊張しやすい性質です。

自立塾での訓練は履歴書や職務経歴書に記載できるが、世間がそれを知らなければ、プラス評価どころか、マイナスのレッテルを貼られてしまう.....それらの事情も就職面接にマイナス影響を与えています。

仕事が決まっても、職場の緊張感で自分が力を発揮する前に追い込まれてしまい長続きしない.....。そんな状況がありました、せつかくの訓練を水に流すような事にならない為にも「OB」と言う制度を考え始めたのも、開所して、半年後の 2006 年 4 月位からです。

どういう制度か? と言うと訓練終了後も自立塾に残り、自立塾で生活しながら就職し会社に通う。と言う制度です。生活は塾側が面倒を見て、本人が仕事を頑張る制度です。

塾生の家賃は半分程度で済み、（三食付き、現在 73,000 円）その代り、風呂掃除や雪かき、運動等「生活」の部分は皆で行い、訓練プログラムは「仕事」をしている分免除すると言う形です。

親の負担も無くなり、本人もフルタイム働き貯金も貯まり、当然いつか一人暮らしの資金になりますが、自分で貯めたお金で自分で事を成す、これが非常に大きな経験になり、自信に繋がります。

自立塾の利益にはなりません。若者が自立する為には必要と考え、苦しいながらも頑張ってその制度を現在でも支えております。

そう言った制度が自立塾開所から 1 年位かけて出来てきました。

補助金の支払いが遅れたり、知名度的な部分が上がらず当初計算していた人数を割っていましたが、なんとか頑張り運営をしておりまして、2008 年には隣のホテル「ホールサムイン宇奈月」（現宇奈月自立塾）を購入し、まさに大きく発展を遂げようとしていた時.....。

巨大な暗雲が広がりはじめたのです.....。

（つづく）

ひきこもりの当事者と家族の会(横浜ばらの会(仮))発足にあたって

広報担当 大竹信子

この家族会の目的は、ひとえに、ひきこもりの人（不登校・不就労などの社会的ひきこもりも含む）の社会復帰を図る事にあります。

ただし、既存の就活・就労スタイルによるものではなく、各自の能力や素質を使ってできることを「働く」ということにつなげていくことができれば、それが本人達にとっての「働き、生活する（社会復帰）」となるのかもしれませんが。

今は不登校や、不就労・引きこもり状態であっても、このままで良いと思っていないのなら、少しずつでも変わることができるような、何かを始めるきっかけが必要でしょう。そのきっかけについて、親たちは、情報を収集・共有し、提供していければと思います。

本人が希望のある人生を歩んでいくことができるよう、私達と一緒に、知恵を出し合い、励まし合って、バックアップしていきましょう。会への参加をお待ちしております。

● お問い合わせ先：代表 鈴木様にメールで

○ [emi-zu.suzu\[at\]docomo.ne.jp](mailto:emi-zu.suzu[at]docomo.ne.jp) ([at]を@に置き換えてお送りください)

◆ 家族と当事者の会を通して、こんな素敵な大人になってみませんか？

主婦Fさん

Fさんは50代になった。

2人の子を持つ慈愛に満ちた優しい母である。しかし、Fさんの半生は、平坦な人生とは言えない。でも、Fさんは慈愛に満ちた優しい母である。

Fさんの生まれた村は、今、放射能汚染で苦しむ限界集落の寒村である。老いた両親は、放射能の為、出荷出来ない農作物を夫婦で作って食している。

地元の高校を優秀な成績で卒業後、すぐに東京の大手企業に就職した。

優しい年上の恋人も出来、結婚し、子宝にも恵まれ、幸せな人生が始まった。

桜が咲き、優しい夫の愛に包まれ、経済的にも恵まれ、子どもたちは順調に育っていった。

そんな、優しい夫だったが、Fさんに時々、「お前は人に対する優しさや思いやりが足りない」と言った。

Fさんは夫の優しさと強さ、深い思慮に益々、魅かれていった。

そんな、部下思いの優しい夫に、桜が満開に咲く春、突然過労死という不幸が襲った。まだ、40代後半の若さだった。子どもは、高校生と中学生...

これから、どう生きて行けば良いのか、40代になったばかりのFさんは悲痛のどん底に落とされた。

廻りの人達の好奇心な目を怖れ、暗い、暗い、気持で目立たぬように控え目に生活を送った。しかし、不幸はさらに続いた。

子どもの不登校、ひきこもり、家庭内暴力の嵐が家庭で吹き荒れた。

その当時、民放 TV によく出る、名古屋の女性指導者と名乗る人を尋ねたが、「あんたの子育てが悪い」と一方的に責められ、解決への具体策は何にもしめされず、高額な費用を要求された。また、医療機関に行けば、抗精神薬を未成年の子どもに処方され、状況はさらに悪化して行くばかりだった。

そんな F さんが暗い顔して、私のカウンセリングルームに訪れた。妻を突然亡くした何年か前の私の気持と同じだった。

「お母さんが明るくなる、廻りのことを気にしないで、季節に応じた明るい色の洋服を着ましょう」と、私は提案し、次に子どもを理解するために、どんな出来事でもよいからメールをください」と言った。

その、メールから子どもの気持を分析し、対応方法を F さんに指示していった。

子どもは徐々に元気を取り戻し、自分の課題を次々に克服して行った。子どもの元気は F さんを元気に明るくさせ、F さんは明るさと若さを取り戻し、子どもをさらに、元気づけて行った。

現在は、二人とも大学生である。人生の課題を抱いているが、それは、皆、真面目に生きようとする学生ならば誰でも懐くもの。

放射線を浴びる稲穂を見て、故郷で暮らす両親を思う。しかし、それでも、F さんは人間誰にでも優しく、慈愛に満ちている。

そんな、F さんに変えたのは、ご主人だろうか、子ども達だろうか、原発の被害者の両親だろうか、不幸が次々に F さん家族を襲ったが、F さんは今日も慈愛に満ちている。

人は幾つになっても出会いの中で成長する。そして、不幸は人を強くし、時によって、優しい人に変える。私はいつまでも、F さん親子を裏舞台で応援したいと思っている。

(実例ですが、本人家族を特定できないように、本筋を変えないように編集しています)

(2013.9.15 日牟田武生ブログ) より

お子さんたちは、現在、社会人として、生活を楽しみながら活躍しています。

F さんも福島で暮らす両親も寒村で元気です。

F さんご自身は介護のお仕事をされながら、毎月、寄付をしてくれます。

横浜事務所の電気代になっており、助かっています。感謝！お礼です。

私も素敵なお大人にいつかはなりたいです

肩慣らし！寮生活の体験

● ねらい

- 寮生活体験を他の人より一足先に経験して、新学期のスタートダッシュを切れるようにします。
- 寮生活体験を通じて、生活リズムの改善を行います。同時に、炊事・洗濯などの基本的な生活感を身につけます。
- 様々な年齢層と共同生活することでコミュニケーション力を育て、他の人との距離感や連携などを身につけます。
- 親元を離れた生活で、実家の居心地良さ、親のありがたさを再認識し自立心を育てます。

● 日程

- 3月1日（火）～3月31日（木）※随時1週間単位でも可能

● 実施場所

- 宇奈月自立塾（富山県黒部市宇奈月温泉）

● 費用

- 1週間： 39,800円（別途暖房費：2,160円）
 - 1ヶ月：145,000円（別途暖房費：8,640円）
 - ◆ 2月29日（月）から前泊できます。この場合、費用に4,000円加算されます。
- ※他県からの参加者の方には、北陸新幹線「黒部宇奈月温泉駅」まで送迎します。

● お支払方法：銀行振込

振込先：北陸銀行宇奈月支店 普通口座 5014010
「特定非営利活動法人 教育研究所」



● スケジュール

- 集合：3月01日（火）13時に宇奈月自立塾
- 解散：3月31日（木）

※個々の進路状況により異なります。

宇奈月に残り、そのまま高校進学することも可能です。

期間	内容
第1クール	<ul style="list-style-type: none">● 寮生活へ慣れ、生活リズムを取り戻す。● 体力を取り戻し、人に慣れて「他人」から「身内へ」。
第2クール	<ul style="list-style-type: none">● 寮生活に慣れて係の仕事などに従事。● グループワークなどでコミュニケーション力を養う。
第3クール	<ul style="list-style-type: none">● イベントを楽しむ（にいかわサポステ「キカクル」に参加）。● グループワークなどでコミュニケーション力を養う。
第4クール	<ul style="list-style-type: none">● 個別の希望で就労体験。● 寮生活の振り返り。

※個々の希望によってプログラムを変更できます。

● 申し込み

- 下記の項目を FAX、電話、メール、のいずれかでお申し込みください。
 - ◆ 「合宿名（肩慣らし！寮生活の体験）」「本人氏名」「住所」「連絡先（電話番号、メール）」
 - ◆ 本人が未成年の場合、「保護者氏名」も併せてお伝えください。
- 電話 : 0765-62-9681
- FAX : 0765-62-1120
- メール : contact@kyoken.org



OB 限定！「春に輝け！」合宿案内

● ねらい

- 宿泊体験を通じて良い時の生活状況や体力を取り戻し、就職・進学など自分の進路に向けて舵を取り、4月からのスタートを切れるようにします。
- 現在、黒部市の有効求人倍率は2倍で思いの仕事でスタートできるチャンスは広がっています。今を逃す手はありません！将来的に地元に戻るにしても、キャリアを積むチャンスは広がっています。
- もう一度宇奈月で輝きませんか？

● 日程

- 3月1日（火）～3月31日（木）

● 実施場所

- 宇奈月自立塾（富山県黒部市宇奈月温泉）

● 費用

- 1ヶ月：100,000円（別途暖房費：8,640円）
 - ◆ 2月29日（月）から前泊できます。この場合、費用に4,000円加算されます。
- ※他県からの参加者の方には、北陸新幹線「黒部宇奈月温泉駅」まで送迎します。

● お支払方法：銀行振込

振込先：北陸銀行宇奈月支店 普通口座 5014010
「特定非営利活動法人 教育研究所」



● スケジュール

- 集合：3月01日（火）13時に宇奈月自立塾
- 解散：基本1ヶ月

※個々の進路状況により異なります。宇奈月に残り、そのままOBとして外の企業に働くことも可能です（地元企業説明会にも毎週行きます）。

期間	内容
第1クール	<ul style="list-style-type: none">● 生活リズムを取り戻す● 体力を取り戻す
第2クール	<ul style="list-style-type: none">● 様々な角度での職業適性検査と、キャリアコンサルタントによる面談● グループワークなどでコミュニケーション力を養う
第3クール	<ul style="list-style-type: none">● 適正と進路に沿った形で個別就労体験（4月からの雇用に応じる企業もあります）● ハローワークの適切な利用と職業訓練などの案内
第4クール	<ul style="list-style-type: none">● 適正と進路に沿った形で個別就労体験（4月からの雇用に応じる企業もあります）● 実践的な就職面談と履歴書・職務経歴書の書き方● 各地域の企業説明会への参加

※個々の希望によってプログラムを変更できます。

● 申し込み

- 下記の項目をFAX、電話、メール、のいずれかでお申し込みください。
 - ◆ 「合宿名（OB限定！「春に輝け！」）」「本人氏名」「住所」「連絡先（電話番号、メール）」
 - ◆ 本人が未成年の場合、「保護者氏名」も併せてお伝えください。
- 電話 : 0765-62-9681
- FAX : 0765-62-1120
- メール : contact@kyoken.org



ニート甲子園

2016年4月21日(木)開催

今年もやります！第8回（8年目）！！100人以上10団体以上集まる国内最大のソフトボール大会です！

応援等や寄付等の支援も受け付けております。

よろしく願いいたします

● 日程

- 4月21日(木) 10時～16時

● 実施場所

- 富山県黒部市 中ノ口緑地運動公園

● 宿泊場所

- 教育研究所 AHE ビル（宇奈月自立塾）

● 参加費用

- 2,000円（宿泊費、朝食・夕食費を含みます）

● 歴代優勝チーム

第1回	長野県	侍学園
第2回	富山県	はぐれ雲
第3回	富山県	教育研究所（宇奈月自立塾）
第4回	長野県	侍学園
第5回	富山県	教育研究所（宇奈月自立塾）
第6回	愛知県	北斗寮
第7回	愛知県	北斗寮
第8回	今年の栄冠はどこのチームか！？	

牟田武生理事長のプログラム等のご案内

◆ カウンセリング

横浜では土、日を中心に行っております。要予約、電話またはメールでお問い合わせください。

1時間 15,000円（会員 10,000円）、1時間半 18,000円（会員 13,000円）。

富山では月1回、宇奈月自立塾（宇奈月温泉）で行っております。料金は横浜と同じです。

また、全国各地で行われる講演や研修の際に不定期に行っております。

メール相談は会員のみ。原則無料ですが、ご寄付お願いいたします。

詳しくはお問い合わせください。

◆ 講演

教育委員会・児童民生委員・親の会・私立学校連合会・PTA・福祉関係等、様々なところで研修・講演も行っております。また、マスコミ関係の研修・番組企画・企画相談等もやっております。研修会の企画立案、コーディネートもご相談ください。（有料）

◆ 留学&海外遊学・就労の会

◆ 価値観を変える海外旅行の会

（自分探しの旅、認知行動療法の応用）

原則として、毎月第1日曜日午前10時～12時、横浜事務所で費用1回3,000円（平成28年4月より）

① 文化交流は価値観を変えるか ②具体的に留学や遊学とは、全て、要予約です。予約は横浜事務所に電話でご連絡下さい。

勉強会は「講義」「情報交流会」「どう対応したら良いか」の構成で行います。

※参加希望者がそろえば、海外視察・遊学旅行も計画します。

予定としては、タイ、ハワイ、カナダ、韓国です。

今まで、参加してくれた、ひきこもり当事者の方々は皆、よい社会勉強になった、人生観が少し変わった、それをきっかけに社会参加ができるようになった。また、機会があったら、参加したいと言います。その秘密は、カウンセリングルームで行う認知行動療法には限界があります。海外では、文化、宗教観、価値観、言語全て違い、長期ひきこもりによる感覚が遊離していても、身を守るために、緊張感を維持しなくてはなりません。その身を守る自然な行為によって、急速に認知のズレが修正されると考えています。さらに、アスペルガー等の発達障害を持つ人にも有効であることが

分かってきました。ただ悩みは、最近、世界が平和でなくなって来ているから、あまり、危険がある国や地域にはいけないことです。

◆ ネット依存からの克服の会

原則として、毎月第1日曜日午後1時半～3時半、横浜事務所で費用1回3,000円。

①ネット依存とは何か ②ネットゲームに陥る心理 ③脱出するにはどうするか

全て、要予約です。予約は横浜事務所に電話でご連絡下さい。

勉強会は「講義」「情報交流会」「どう対応したら良いか」の構成で行います。

◆ 宇奈月温泉で

カウンセリングやアウトリーチの他に、当事者・若者短期合宿を行います。

詳しくは宇奈月自立塾にお尋ねください。

ゲストルーム等あり、宿泊も可能です。(会員割引あり)

会費納入のお願い

会員期限きていませんか？ご確認を！

NPO 法人教育研究所は、皆さまの会費を運営資金の一部に利用させていただいています。内訳は会員通信費40%、寄付60%です。年会費は1口5,000円ですが、何口でも構いません。年会費は会費をお支払いいただいた日から1年間有効です。継続を希望される方は、有効期限が切れる前に継続の会費を納めていただけるようお願いいたします。

※入金確認後、会員証を発行致します。

- 横浜銀行 上永谷支店 (323) 普通 1442822
名義 特定非営利活動法人教育研究所 理事長 牟田武生
- 郵便振替 00230-9-112182 特定非営利活動法人 教育研究所

編集後記

安倍内閣になっても社会は混迷している。日本はどこに行くのか？さっぱり見えてこない、街ひと仕事の掛け声のもと、地域創生・一億総活躍社会と言うが、具体的なモデルがどこにも見えない。本来、未来の社会デザインは社会学者の仕事であるはずだが、どこに、社会学者がいるのかわからない。大学が山ほどでき、昔の社会学部系の大学の学部もあるのに、そのレベルは高校の社会の程度困ったものである。我々、死を目前にしている中高齢者なら未来に生きないからどうでもよいが、これでは、子どもや若者は自分の未来を描けず、希望を失っていく社会である。(ム)

サポステの28年度申請が終わった、今年は提出先も変わりバタバタしたが一段落.....とはいかない(提出しただけで、正式に認可は3月の話)。年度末は様々な申請があり、現在も他の事業に申請書を作成している(詳しくは次号以降で紹介)。

現段階で、宇奈月自立塾が行っている事業は人間の体で言うと「骨」の部分であり、「肉」を付けていかなければならない。「サポステ」や「富山県生活保護者の居場所作り事業」は「骨」である。それらに関連した「肉」を付けていきたいと思う。

宇奈月自立塾のエレベーターも古い機種の為部品が4月から生産されないようだ。

エレベーターを換えるとなると数百万~数千万かかるらしい.....。

肉を切らせて骨を断つ...切られる肉を付けていかねば...私のお腹の肉も切らせなきゃ.....。(寮長)

東日本震災から5年、平均7年、ネット依存で中学も高校も不登校・ひきこもりの子らがカナダバンクーバーに留学に行って5年。彼らは現地の大学や専門家になるための教育を受けている。なかには、移民をした者もいる。彼らは背水に陣で歯を食いしばり頑張っている。英語での不自由はなにひとつない。

その子らを影から支える、バンクーバーに留学する親の会もある。

長期に及んだ不登校・ひきこもりの人が自分らしく社会に適応して生きていくためには、時間が掛かる。途中で挫折すると、スタートに戻るのではなく、自信喪失、不信感、強い不安がさらに強くなり、ひきこもり状態が、さらにひどくなる。

親子の関係、親の子に対する理解と愛情を含め、心理的状态と時期、タイプ、本人の性格や考え方、価値観を理解して対応していかないと、挫折は必ず起る。当事者のためにも、支援者と親はスクラムをしっかり組み、対応をして行きたい。

それでないと、薬づけにする精神科医やひきこもっているでも高校を卒業できますよという、自称専門家の罠に落ちてしまう。(ム)